

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	令和6年度鋼構造コンクリート・道路研究会合同現場研修会 (CPD 番号 6-8)
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部 鋼構造コンクリート研究会・道路研究会
日時	2024年10月28日(月) 13:50~15:20
場所	一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事 岩手県八幡平市佐比内地内
参加人数等	岩手県支部会員:15人、岩手県盛岡広域振興局土木部岩手土木センターほか

活動内容

【現場研修会の概要】

鋼構造コンクリート研究会及び道路研究会では岩手県(盛岡広域振興局土木部岩手土木センター)が八幡平市佐比内地内で進めている一般国道282号(仮称)佐比内トンネル築造工事の現場研修会を合同で開催し、岩手県支部会員15人が参加した。

【現場研修会対象事業の概要】

一般国道282号は、盛岡市から八幡平市、秋田県鹿角市等を経由して青森県平川市を結ぶ北東北の産業振興、交流等を支える主要な幹線道路であり、並行する東北縦貫自動車道弘前線が事故や降雪等により通行止めとなった際には、代替路としての役割を担う重要な路線である。

しかし、本路線の八幡平市佐比内地区は、幅員狭小、線形不良区間が連続し、車両のすれ違いが困難な隘路となっており、冬期間の積雪量も多いことから、安全で円滑な通行の支障となっていた。

このため、平成24年度から(仮称)佐比内トンネル(210.0m)を含む延長760mの道路整備事業に着手し令和6年3月から(株)ピーエスコンストラクション・(株)近江建設特定共同企業体の施工により、(仮称)佐比内トンネル築造工事を進めているものである。

【現場研修会の実施状況】

現場研修会では、岩手県及び工事受注者から事業概要、工事の進捗状況等について説明があった後、掘削工事に着手した直後の終点側坑口部付近の施工状況等を確認した。終点側坑口部には、崖錐堆積層(未固結層)が分布しており、小口径径尺鋼管先受工等の補助工法を併用して掘削が進められていた。

また、トンネル計画区間の一部には自然由来のヒ素の含有が確認されており、対策工法の検討状況や、周辺の希少野生動植物への対応等について説明があった。

トンネル計画や地質の特徴、施工時の留意点等活発な意見交換が行われ、有意義な現場研修会となった。



岩手県による工事概要等の説明



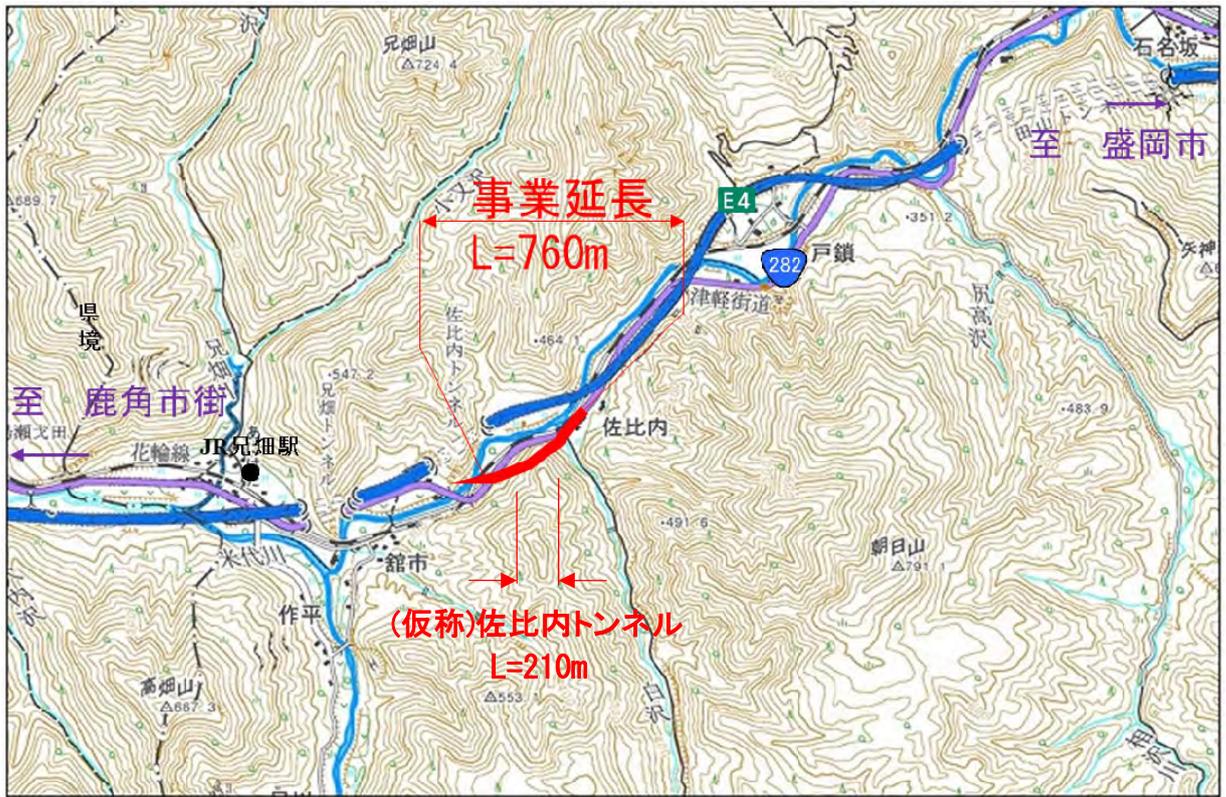
掘削状況(終点側坑口部付近)



参加者で集合写真

(道路研究会代表 熊谷 記)

【位置図】



【工事状況】



終点側坑口部 (令和6年5月8日時点)



終点側坑口部 (令和6年11月1日時点)



トンネル掘削状況 (令和6年11月12日時点)